

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年9月11日（金）

2 確認箇所

- ・増設雑固体廃棄物焼却設備（図1）
- ・瓦礫類一時保管エリアA2（図1）
- ・K4タンクエリア、多核種移送設備建屋（図1）

3 確認項目

- （1）増設雑固体廃棄物焼却設備の状況
- （2）廃棄物分別作業の状況
- （3）多核種除去設備等処理水の試料採取状況

4 確認結果の概要

（1）増設雑固体廃棄物焼却設備の状況

東京電力では、令和6年2月に発生した増設雑固体廃棄物焼却設備の廃棄物貯留ピット（以下「ピット」という。）における伐採木チップからの水蒸気・ガス発生及び火災報知器発報事案（以下「水蒸気・ガス発生事象」という。）を受け、ピット内の伐採木チップ及び注入した水を回収するとともに、原状復旧工事及び再発防止対策工事を進めてきた。

これらの工事が完了し、令和8年8月から焼却炉の調整運転が実施されていることから、その状況を確認した。（図2）（前回確認：令和8年8月7日）

- ・現場確認時には、焼却炉の昇温が行われていた。（写真1）
- ・炉内温度が定格に達した後、ピット内の伐採木チップを、クレーンを用いて焼却炉上部のホッパーに投入していた。（写真2）
- ・水蒸気・ガス発生事象の再発防止対策として、伐採木チップの表面温度を監視するためのサーモカメラがピット上部に設置されていた。監視盤で温度を確認したところ、過度な温度上昇などの異常は認められなかった。（写真3）
- ・東京電力によると、今後、調整運転を経て本格運転へ移行する予定とのことであった。

（2）瓦礫類一時保管エリアA2の状況

東京電力では、中長期ロードマップの目標工程である「2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外での保管を解消」の達成のため、屋外で一時保管されている瓦礫類等の固体廃棄物を屋内保管へ移行し、屋外一時保管エリアの解消を進めている。

本日は、瓦礫類一時保管エリア A 2 における廃棄物の保管状況等について確認を行った。（前回確認日：令和 7 年 6 月 9 日）

- ・瓦礫類一時保管エリア A 2 の周囲には、コンクリート擁壁が設置されていた。（写真 4）
- ・現場確認時には、コンテナに収納した廃棄物を取り出し、可燃物と不燃物に分別する作業が行われていた。（写真 5）
- ・分別後の可燃物は 1 m³コンテナに、不燃物は 6 m³コンテナにそれぞれ保管されていた。（写真 6）
- ・確認した範囲では、コンテナに転倒や傾きは確認されなかった。また、内容物の飛散や流出も確認されなかった。

（3）多核種除去設備等処理水の試料採取状況

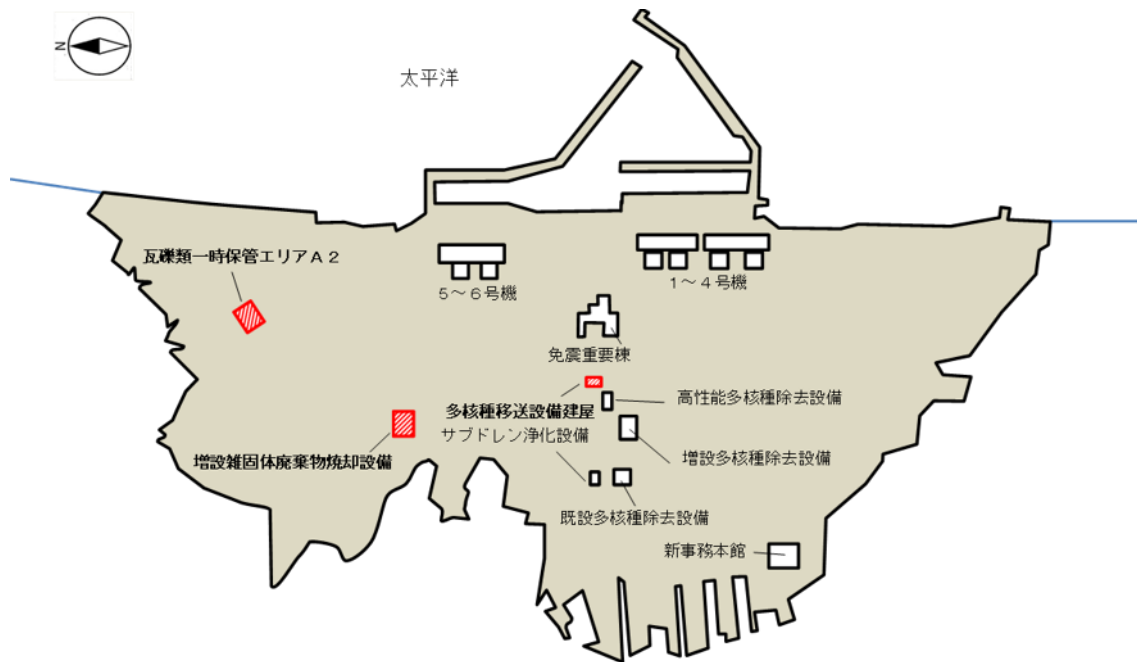
東京電力では、多核種除去設備等処理水（以下「ALPS 処理水」という。）の海洋放出にあたり、希釈前の ALPS 処理水の放射性核種濃度や水質を測定し、トリチウム以外の放射性核種濃度が法令上の基準を満足していることを確認している。また、トリチウムについても、ALPS 処理水を海水で希釈した放流水について、法令上の基準（60,000 Bq/L）を下回る運用目標（1,500 Bq/L）を設定し、当該目標を満足していることを確認した上で、海洋放出を行っている。

今回、ALPS 処理水の第 25 回目（令和 8 年度第 7 回目）^{※1}の放出に向け、放射性核種濃度等の測定に係る希釈前処理水の試料採取（サンプリング）が多核種移送設備建屋において実施されたことから、その状況を確認した。

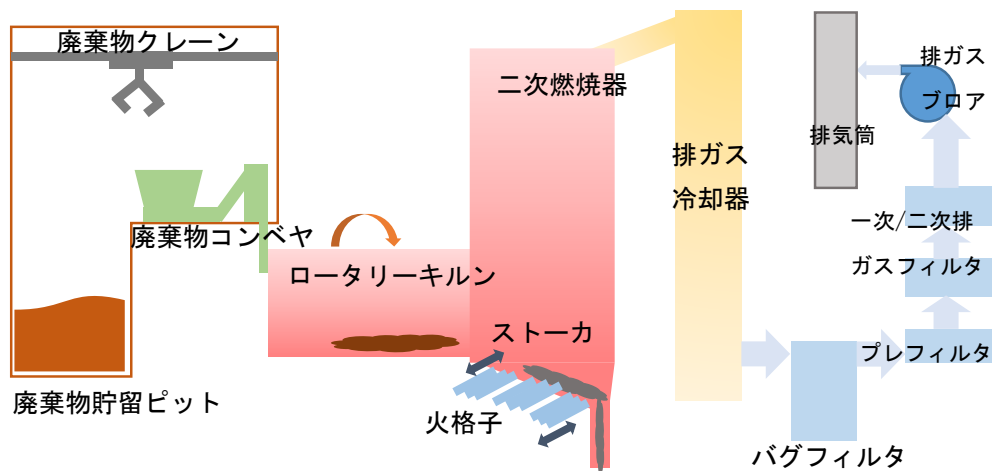
（前回確認：令和 8 年 8 月 24 日）

※1 ALPS 処理水放出（第 25 回目）：K1 エリア C/D 群のタンクに貯留している ALPS 処理水を対象としている。なお、サンプリングは、測定・確認用タンク（A 群）に移送完了後、循環攪拌運転を行った上で実施している。

- ・サンプリングはサンプリングライン A 系から実施され、関係者により作業内容の復唱や指差呼称を行いながら、必要量の試料が安全かつ確実に採取されていた。また、作業中における ALPS 処理水の外部への漏えいや飛散等の異常は認められなかった。（写真 7）
- ・サンプリング後の試料については、容器への水の付着や容器からの水の滴下の有無を確認するなど慎重に取り扱われており、容器からの漏えい等の異常は認められなかった。（写真 8）
- ・試料容器には封印処置及びラベリングがなされていることを確認した。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



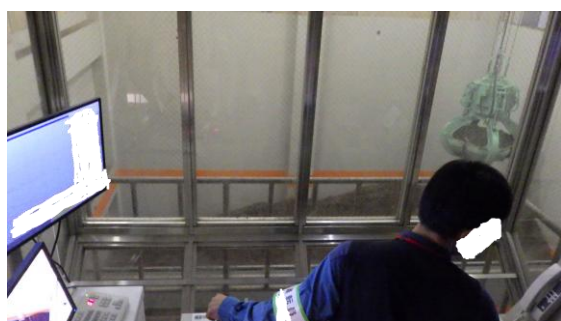
(図 2) 増設雑固体廃棄物焼却設備の模式図 (東京電力資料を参考に作成)



(写真 1－1)
焼却炉の状況①



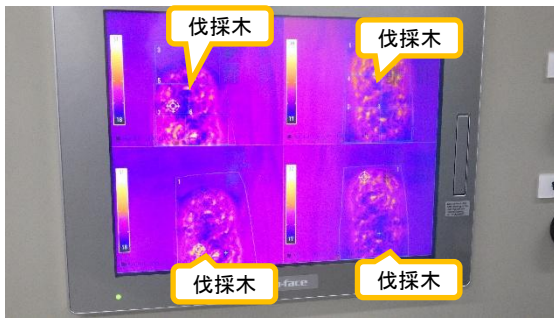
(写真 1－2)
焼却炉の状況②
※中央操作室において監視カメラの
映像を確認した。



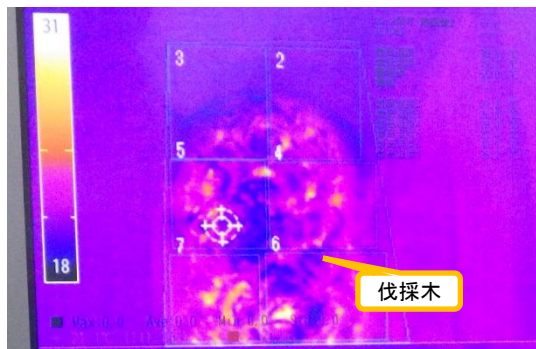
(写真 2－1)
伐採木チップを把持するクレーンの
操作状況



(写真 2－2)
クレーンによる伐採木チップの把持
状況



(写真 3－1)
ピット内伐採木の温度監視の状況①



(写真 3－2)
ピット内伐採木の温度監視の状況②



(写真 4)
瓦礫類一時保管エリア A 2 の状況



(写真 5)
廃棄物の分別作業の状況



(写真 6－1)
廃棄物を収納したコンテナの保管状況①



(写真 6－2)
廃棄物を収納したコンテナの保管状況②



(写真 7)
サンプリングの状況



(写真 8－1)
サンプリング後の試料容器の拭きあげ作業の状況



(写真 8－2)
サンプリング後の試料の状況



(写真 8－3)
ラベリング作業の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。